

津久井湖誕生 一相模川総合開発共同事業史一

ダム建設開始

昭和37年2月15日、城山ダム地点において相模川総合開発共同事業の起工式が行われ、城山ダムの建設が始まりました。

起工式には県及び3市の首長をはじめ、来賓及び地元関係者が多数出席しました。



起工式会場の様子



起工式での内山知事挨拶



仮排水路の通水を喜ぶ
内山知事と工事関係者

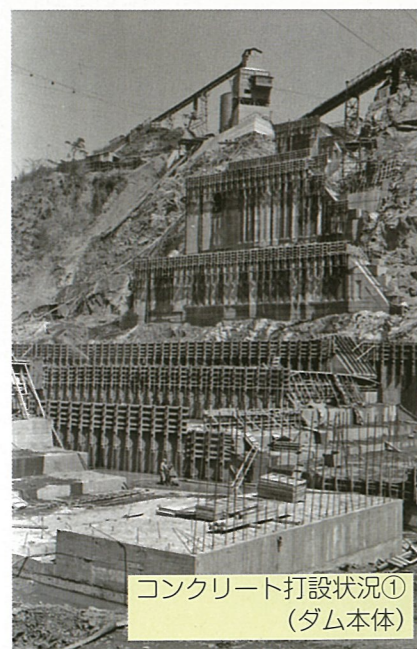
仮排水路工事はすでに昭和36年11月に掘削を開始しており、昭和37年3月に貫通、同年9月24日に同工事が完成し通水が行われました。



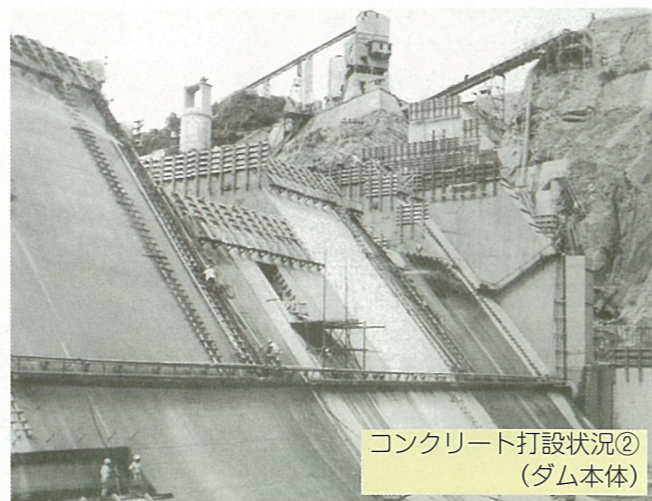
地山掘削完了後の状況



基礎掘削状況



コンクリート打設状況①
(ダム本体)



コンクリート打設状況②
(ダム本体)

昭和37年12月からはコンクリート打設が開始されました。



コンクリート打設状況③
(進捗率約40%)



ダム本体建設完了
(城山ダム下流から撮影)



空から見た城山ダム建設状況

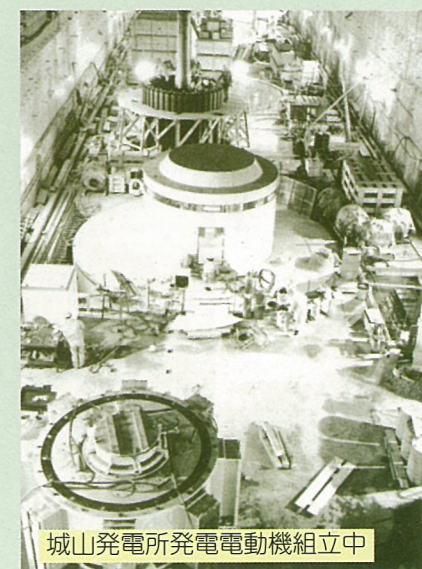
関連する施設の建設

城山ダム(津久井湖)と本沢ダム(城山湖)とを利用して発電を行う城山発電所の建設は、企業庁単独で計画し、昭和36年12月に着工されました。昭和40年8月に本沢ダムの湛水を開始し、同年10月に運転を開始しました。

また、神奈川県、横浜市、横須賀市の各水道事業者専用施設に分水するための寒川取水施設は、城山ダムの約30km下流に昭和39年3月に建設されました。急増する県下の水需要に対処するため、城山ダムの一部湛水を利用して事前取水を開始しました。



建設中の寒川取水施設



城山発電所発電電動機組立中